

ステンレス材を用いた金属製品を各種生み出し、 機械では対応できない職人技術を蓄積

同社はモノづくりの街、燕三条エリアにてステンレス材の加工を得意とし、住宅機材や電気機器など、業務用製品を設計から製造まで行う製造業者である。グループ会社にステンレス鋼材卸を行う吉川金属(株)、加工を専門に行うカットウエル(株)があり、製品設計から材料仕入、加工、販売まで一貫して対応な点が強みである。

- | | | | |
|----------|---|--------|---------|
| ● 所在地 | 新潟県西蒲原郡弥彦村大字大戸635-3 | ● 設立 | 1952年 |
| ● 電話/FAX | 0256-91-2210/0256-91-2211 | ● 資本金 | 1,000万円 |
| ● URL | http://www.yoshikawa-group.co.jp/ | ● 従業員数 | 170人 |
| ● 代表者 | 代表取締役 吉川 力 | | |



技術の蓄積、地場産業の活用に卓越する

モノづくりの街、燕三条に位置し、古くよりステンレス材を用いた金属製品を各種生み出してきた。この長年の経験により、プレス加工、溶接、磨きや表面処理のノウハウを蓄積することに成功し、今日の経営基盤を築いた。よって、同社では機械では対応できない職人技術が蓄積されている。また長年の地場での活動により、同社グループで対応できない部分についても、地場企業の協力を得ることで、対応が可能となっている。このことにより、試作・開発分野において優位性が生まれている。



株式会社 ヨシカワの統一ロゴ「YOSHIKAWA」

IT技術やSNSも活用した海外販路の開拓に積極的

社内では、月に一回のIT委員会を開催し、ITスキルの向上やfacebookなどのSNSも活用した、マーケティングにも積極的である。そのようなグローバルマーケティングの時代に海外展開にも積極的に取り組んでいる。具体的には、①年間10回程度、国内／海外の展示会に出展し、新規販路開拓に注力している。②隔年、若手職員を含め、ドイツの最新機器展示会を見学を実施、若手のグローバル意識を啓蒙している。③30年夏季には、上海のデパートに進出し、同社製品の直接販売を強化するなど行っている。



COOK PALと題し自社ブースを展示会に出展

防災キャビネットの開発・販売による防災意識啓発

中越地震、洪水の影響を乗り越え、近年多発する自然災害に向けた取組として、防災キャビネットの開発／販売に注力している。当該製品は、被災地だけでなく、これまで被災した事がないエリアにおいても防災意識啓発に大きく貢献している。「座れる防災キャビネット」は、2017年10月11日に、危機管理産業展に出展し、銅賞を受賞した。災害時に多く発生するエレベーター内での取り込め対応として、活躍が期待されている。普段は、お年寄りや身体の不自由な方の椅子としても活用でき、防災意識の高揚に貢献している。



エレベーター内で座れる防災キャビネット